・6月WEBアプリ開発コースを経て成長したこと

まず、プログラマーが実際に行う工程について理解を深めることが出来ました。

具体的には、コードを実際に書いてシステムを作っていくことは理解できていましたが、内部設計・外部設計などコード打つ前の話し合いが開発においては重要になると学ぶことが出来ました。

また、５月までは一人で開発だったためコミュニケーション面をあまり意識していなかったのですが、チーム開発に入り、チームメンバーが考えていることや困っていること、周りの進捗を気にすることを行わないと円滑に進まないと理解でき、円滑なコミュニケーションを意識して行い、円滑なコミュニケーション方法についても学び、成長できたと思います。

・5月を終えたころに感じた課題

５月までは、初めてプログラミングを学ぶということもあり、難しい部分で考えすぎてしまい、止まってしまっていました。

ただ、６月のチーム演習を通して、難しい部分を調べて考えるのは重要なのですが、その部分でずっと止まっていても周りの進捗に迷惑をかけるだけなので、他のできる部分があればそこを行い、分からない部分は講師や周りの人から聞くということを通じて課題を改善できました。

6月の各フェイズで感じたこと

要件定義

6月２週目のコミュニケーションタイム

要件定義書では、始めに実現可能か不可能かは置いておいて、作りたい案をとにかく出すことが大事と思いました。そしてその案の中から、可能なもの選定していくことが大事だと感じました。また、この段階で単語や造語の齟齬を無くすことで、後々楽になると感じました。

内部設計・外部設計

この２つにおいても、認識の齟齬を無くすことときれいに書くということが重要だと感じました。

まず、この部分で認識の齟齬があると実際の実装工程で作成するシステムに混乱が生じます。実際にチーム内で生じました、なので、設計の時点で言葉や機能についての認識の統一はかなり重要だと感じました。また、設計書は実装工程において確認のため何回も確認しました。そのため、きれいに書いておくことでその後の工程で確認がしやすいので、重要田度感じました。

実装工程

実装工程においては、進捗や相談が重要だと感じました。外部設計や内部設計ではチームで話し合いを行いながら進めていくため、進捗などは全体が理解しやすかったです。ただ、実装工程では、個人作業が多くなり、周りの進捗が全く見えない状態になりました。そのため、スケジュールにも少しずれが発生しました。なので、個人作業で周りの進捗が分かりづらいからこそ、相談や確認などをして見えるかを行うことが重要だと感じました。

7月以降の目標

今後は、まだまだ初心者のため分からないことが多くあると思います。なので、自分で考え、分からない部分は上司や先輩に聞いていきたいと思います。また、コミュニケーションにおいても率先して行っていこうと思います。

研修以前

　・研修以前はPC自体に触れることが少なく、タイピングのスピードも遅くプログラミングの知識もほとんどない状態から研修をスタートしました。

４－５月の課題

・